

「中小企業向けサイバーセキュリティセミナー」を開催！

～あなたの会社は大丈夫？多様化するサイバーリスクへの対応～

日本損害保険協会中部支部委員会（委員長：渡辺一奈・三井住友海上火災保険株式会社執行役員）では、2月13日（金）に「中小企業向けサイバーセキュリティセミナー」を開催しました。

【開催概要】

日 時：2026年2月13日（金）14時～16時

場 所：名古屋栄ビルディング 12階 中会議室（名古屋市東区武平町5-1）

後 援：愛知県損害保険代理業協会、中部経済新聞社

参加者数：会場とオンラインあわせて236名

冒頭、渡辺委員長から「当セミナーを通じて、中小企業を取り巻くリスク、特にサイバー攻撃に係るリスク対策への理解と備えにつなげていただきたい」との開会挨拶がありました。

講演では、愛知県警察本部生活安全部サイバー局サイバー犯罪対策課 管理官 警視 若杉則彰氏が「サイバー犯罪の現状と対策」と題する講演を行いました。若杉氏からは、「ビジネスメール詐欺ランサムウェアによるサイバー被害が横行している。普段と異なるメールやLINEの友達申請はメールアドレスや本文をよく確認して社内で共有すること、メールの添付ファイルを開かないことなど注意願いたい」といった説明や、「サイバー防犯診断」等県警の取組み事例の紹介がありました。

次に、NTT ビジネスソリューションズ株式会社マネージメントサービス部門マネージドビジネス担当 担当課長 金田泰明氏が、「中小企業を狙うサイバー攻撃の現実と対策～重要な情報資産を守るために～」と題する講演を行いました。金田氏からは、「被害に遭わないためのセキュリティ対策として、OS・ソフトウェアの最新化、ウイルス対策ソフトの導入などの基本的な対策のほか、プラスワンの対策を行っていただきたい」との説明がありました。

そして、三井住友海上火災保険株式会社 愛知支店金融法人課長 西平長史氏と同課課長代理 秋山将輝氏が「サイバー攻撃からの事業継続～サイバー保険とBCPの必要性について～」と題する講演を行いました。西平氏からは、「実際のサイバー保険支払い事例から、サイバー攻撃対策の一つとしてサイバー保険は有効である」、秋山氏からは「事業継続の観点から初動対応計画などの事前対策と、損害発生時の費用対策などの事後対策を両輪として対策いただきたい」との説明がありました。

最後に一般社団法人愛知県損害保険代理業協会長 橘 恭浩氏から当セミナーを通じて、「サイバーセキュリティを含めたリスク対策の重要性の再認識とその対策の実行によりリスク対策が向上し、事業の発展に繋がることを期待する」と閉会挨拶がありました。

セミナー終了後のアンケートでは、「サイバーセキュリティ対策が重要なことが良く分かった。」「サイバー保険とサイバーBCPについて認識を深める必要性を感じた。」などの感想が寄せられ、回答のあった83名のうち98%の方から大変参考になった・参考になったとの評価をいただきました。

当支部では、引き続き、中小企業に向けたリスクの啓発取組みを推進していきます。



開会挨拶をする渡辺支部委員長



講演1 愛知県警察本部サイバー犯罪対策課 管理官 若杉氏



講演2 NTT ビジネスソリューションズ(株)マネージドビジネス担当課長 金田氏



講演3 三井住友海上保険(株)愛知支店 金融法人課長西平氏・課長代理秋山氏



閉会挨拶をする愛知県損害保険代理業協会会長 橘氏



セミナー会場の様子